

代表質問

新型コロナウイルス感染症さらなる拡大の懸念～本市の検査・診療体制は～



動画視聴

民主・護憲クラブ
平山 光子 議員豊かで活力ある社会は
男女共同参画社会
女性管理職増の取り組みを

問 第3次男女共同参画プランの下で、性別に関わりなくその個性と能力が発揮できる社会の実現のために取り組みが推進されている。行政の役割は重要だが、市内の女性管理職の比率についての見解は。

答 令和3年4月までに管理職に占める女性職員の割合を15%とする数値目標を掲げている。しかし、令和2年4月1日現在で、管理職に占める女性の割合は8.5%で、十分とは言えない状況。目標達成に向け、しっかり取り組みたい。

再発言 本市は県内29市の中では下から2番目。筑後市25%、みやま市21.1%など、近隣でも高いところがある。

しっかりと取り組みを。

新型コロナウイルス感染拡大の懸念
本市の検査・診療体制は

問 本市の診断や検査、診療体制の現状は。

答 帰国者・接触者相談センターを介することなく、かかりつけ医等の医療機関等に電話で相談し、必要に応じて検

査を受けられる体制に変更されている。

相談した医療機関で診療・検査ができない場合は、保健所の受診相談センターに電話して、

診療・検査が可能な医療機関が案内される。

問 大牟田市が保健所機能を県に移管しなければ、情報をもっと分かり、検査体制も充実でき、安心につながったのではないかとの声もあるが。

答 単独市の保健所では、有する人員・機材で対応できる範囲に限りがあり、対応が難しかったと考える。県に移管されたことで、PCR検査や疫学調査を行う体制の充実が図られたと考えている。

県が公表した情報以外の情報が少なく、市民は不安に思われていることも承知しているが、検査や調査など、県の充実した体制の中でしっかり行われていると認識している。

再発言 情報が少なく分からないことで疑心暗鬼が広がり、不確実な情報が飛び交うこともある。市内の陽性率やその後の経過など、もう少し情報が欲しい。他の自治体の意向も確認し検討してもらいたい。

コロナ禍で頑張る子どもたち
学校へのさらなる支援を

問 人的、物的支援の現状は。

答 人的には学習指導員、ス

クール・サポート・スタッフを全校に配置。物的には衛生用品や非接触型体温計を配布、ミストシャワー、体育館に大型扇風機など設置。今後サーマルカメラやサーキュレーター設置を予定している。

コロナ禍での豪雨災害
心身に不安を抱える被災者に
丁寧な相談対応、支援を

問 不安や体調の変化を抱え、相談や支援につなげていない被災者も多い。支え合いセンターは心の支援の役割も担っていると思うがどうか。

答 心のケアという面でも丁寧に状況を見守り、支援していきたい。

RDF発電事業の承継
大牟田エコタウンの振興に

(RDF発電所)

問 *JFEは、RDF発電終了後の跡地をリサイクル関連事業の九州の拠点としたいとの報道もある。当局の見解は。

答 *JFEが、5年間の事業終了後もリサイクル関連事業をこの地で検討されるのなら、エコタウンの振興にもつながると考える。

再発言 跡地活用の際は、本市との十分な協議が必要。県には、最大限の助力を求め、エコタウンの将来を見据えて進めていくことを要望する。